

	項目	はい (人)	いいえ (人)	未記入 (人)	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	17	0	0	
	② 職員の配置数は適切であるか	14	3	0	・配置基準は満たしていると思うが、児童の発達状況等により個別対応が必要なため、少し足りないと感じる場面もある。 ・午後は午前比べて少なく、他のクラスと協力しながらしている。 ・職員配置の見える化をすることで、職員間の連携が図れるよう努めている。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	0	0	・子どもたちが分かりやすいように、どこに何を入れれば良いか、今から何をするのか等見て分かるようにしている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	1	0	・児童が楽しく過ごせる様に空間の保障ができています。 ・子どもによって体格が違うので、イスや机の高さの配慮やトイレも工夫している。 ・子どもが不安になったりした時の心を落ち着ける場所の確保が必要と感じるが、工夫しながら対応している。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	14	2	1	・担当者中心になり、職員で取り組んでいる。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	16	0	1	・保護者アンケートを職員会議等で確認し、改善に向けて協議を実施する。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	16	0	1	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	4	4	・外部評価の実施の有無やその結果について、あまり伝わってないように感じる。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	17	0	0	

適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	16	0	1	・職員のスキル向上が必要。 ・多数の目を見て、主観に偏らないように工夫をしている。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	3	3	・アセスメントの実施、解釈ができる職員が少ないため、職員のスキル向上が必要。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17	0	0	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	0	0	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	16	0	1	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	17	0	0	・子どもたちが、今何をしたいかを考えながら計画を立てている。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	16	0	1	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	17	0	0	・できれば毎回打ち合わせを行いたいが、児童の様子や配置の都合で実施できない時もあるため、日案を活用している。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13	4	0	・その日に打ち合わせすることは、時間的に難しいことも多いが、日案を使って情報の共有、振り返りをしている。 ・勤務時間にズレがあるので、全員そろっては難しい。 ・クラスミーティング等の時間や次の日の朝、準備をしながら振り返っている。
	⑲ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	17	0	0	・担当者によって異なるが、職員間で共有できるよう努めている。今後は、全職員が記録についての必要性和重要性が理解でき、検証の場となるよう、共通認識を持てるよう取り組む。
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	17	0	0		

関係 機関	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	15	1	1	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	16	0	1	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	13	4	0	・基礎疾患を有する児童について、医療との連携を図っている。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	11	2	4	
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	16	0	1	

関 や 保 護 者 と の 連 携	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	17	0	0	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	16	0	1	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	10	2	・戸外活動で場の共有をすることはあるが、あまり多くない。 ・今後、地域の幼稚園等と交流を計画していく必要があると感じる。 ・今年度はコロナ禍にあり、難しいと考える。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	13	2	2	・自立支援協議会児童発達グループ会議に参加している。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	17	0	0	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	12	3	2	・保護者交流会、グループワーク、個別面談にて支援あり。 ・ペアレントトレーニング等のプログラムは行っていないが、ペアレントトレーニングの学習が保護者のニーズとあっているのか、それとも他のプログラムがあっているのか、検討して家族支援を行う必要があると感じる。 ・職員が様々な家族支援の手法を知っておくことは必要と考える。

保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	15	0	2	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	17	0	0	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	17	0	0	・コロナの影響もあり、充分ではないと感じている。コロナと上手に付き合い、出来る事を模索し、実行する。 ・連絡ノートでのやりとりや、必要に応じて電話でやりとりを行っている。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	16	0	1	・コロナ禍で影響もあり、充分ではないと感じる。できる範囲でやれるよう工夫して実施している。 ・コロナの影響で開催回数は少なかったものの、保護者同士の連携・繋がり的重要性を大切にしている。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	0	0	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	17	0	0	
	③⑱	個人情報に十分注意しているか	17	0	0	・ブログ等、今後も気を付けていく点を全体を共有したい。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	16	0	1	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	11	2	・地域住民を招待することはできていないが、地域への散歩等で出かけて行っている。 ・地域との交流は少ないと感じる。こちらから出向くことはあるが、「招待」「来所」していただく機会はあまり設けることができていな

非 常 時 等 の 対 応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	16	0	1	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13	3	1	・全員に周知できていないように感じる。周知方法を検討する。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	15	0	2	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	16	0	1	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	17	0	0	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	16	1	0	・職員会議や法人研修等で研修の機会を確保し、実施している。その都度気になる時や共有しておきたいことは、朝礼等で周知・指導するよう努めている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	16	0	1	・同意書を作成し、事前説明を実施している。 身体拘束が必要な状況になる場合は、児童発達計画に記載する必要があることは理解している。

【全体としての改善目標】

- ① 保護者支援の充実⇒個別懇談等を計画的に実施する中で、話しやすい雰囲気づくりを図り、信頼関係を構築する。ブログの更新を定期的に行い、センターで取り組みを知っていただくよう取り組む。
- ② 療育内容の充実と専門性の向上。⇒外部講師による個別相談や療育指導を継続して実施。職員間での連携を強化し、課題解決に向けPDCAサイクルが確立するよう努める。
個々の職員のスキルアップは必要。研修の機会の確保や会議の見直し等を図り、職員の意識改革に努める。
- ③ 地域の連携・つながり強化。⇒近隣施設や地域住民との交流を深め、発達障害への理解及びセンターの取り組みが広がるよう努める。
- ④ 非常時の対応⇒マニュアル周知及び訓練の実施について検討し、時代に合った方法を計画実施する。